人間科学

事故情報の掲示内容が事故を起こした人に対する印象に与える影響

重森雅嘉

事故に対する注意喚起を行うために，鉄道の職場では事故情報を掲示することが多い。しかし運転士にヒアリングを行った結果，掲示された事故を自分に置き換えて考えることが難しいという指摘があった。そこで，事故の親しみやすさ（親密度）と背景要因の有無の効果を明らかにするために，親密度の高い事故と低い事故のそれぞれに背景要因を明記したものと，そうでないものを用意した。これらのいずれかを読ませた後で行ったアンケート結果，背景要因が記述されていない情報を読んだ受信者は，事故者の能力が低いと考える傾向が高いことが分かった。人は自分の能力を平均以上と判断する傾向があるため，背景要因が記述されてない事故情報を読んで事故者の能力を低く見積もった受信者は，当該の事故を自分に置き換えて考えない可能性がある。これらのことから，受信者に自分への置き換えを促すために，事故情報には背景要因の記述が必要であることが示唆された。

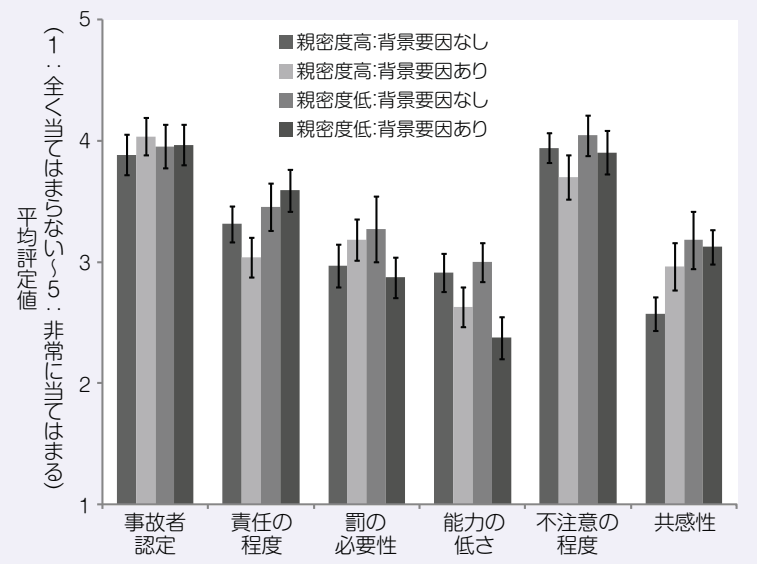

図　事故情報を受け取った際の印象調査の結果